

# 農作物生育・技術情報6号

令和1年(2019年)8月6日

日高農業改良普及センター日高西部支所  
JAびらとり JA門別町

## 1 水稻生育状況 中苗:ななつぼし

生育は、8月1日現在で平年並です。ほ場をよく観察して適期作業に努めましょう。

出穂・開花後の登熟初期(出穂始～20日間)は、籾の中で子房が急速に大きくなるため、水分が必要になります。この時期の高温や土壤水分不足等は、収量・品質に影響しますので、水田内の土壤水分や稲の登熟状況を観察し、生育に合わせた水管理を行ってください。

7月中旬以降、全道的にカメムシの発生量が増加しています。また8月の気温が高いことが予想されるため、今後は水田内への飛び込みが増えると思われまます。「すくい取り」等による予察を行い、防除を行いましょう。

また、葉いもちの発生は見られていないものの、ほ場をよく観察し、出穂以降の穂いもちの防除を徹底しましょう。

生育状況(8/1現在)			〈技術対策〉
項目	R1年	平年	
草丈	81.0cm	88.1cm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメムシ防除対策 茎葉散布は「出穂期※」と「出穂期から7～10日後」の2回防除を実施する。2回目の防除は水田のすくい取り(20回振り)で判断する。</li> <li>・いもち病防除対策 穂いもち防除は「出穂期※」に行うが、出穂のバラツキがみられる場合は、穂揃期※に再度防除する。</li> </ul>
葉数	10.4葉	10.9葉	
m <sup>2</sup> 茎数	511本	538本	※出穂期：全穂数の40～50%が出穂した時 ⇒ 8/1 穂揃期：全穂数の90%が出穂した時 ⇒ 8/4 (中苗ななつぼし)
止葉期	7/22	7/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落水時期と落水後の水管理 落水は「穂かがみ期」以降に行うが、湿田や透水不良田は「出穂期」後7日目を目安となる。ただ水田が乾燥する場合は走り水を行い、土壤水分を確保する。</li> </ul>
出穂始	7/29	7/29	
出穂期	8/1	8/2	
遅速	+1日	—	

## 2 主要野菜の生育状況

作物名	生育状況	技術対策
トマト	5月定植：2～4段目収穫 6月定植：1～2段目収穫。 ・灰色かび病、萎凋病、アザミウマ類、アブラムシ類が見られる。 ・日焼け果、軟果が見られる。 ・蒸れによる茎葉の黄化が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果実に直接日光が当たらない程度に摘葉する。</li> <li>・晴天が予想される場合は早めにかん水を行い急激な蒸散によるしおれを防ぐ。</li> <li>・古葉や内側の葉の整理を行い、通気性を向上させる。</li> </ul>
きゅうり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定植作業がほぼ順調に進み、定植後の活着も良好。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の温度が高くなりやすいため、定植直後の高温による植え痛みに注意する。</li> <li>・活着後も生育に応じたかん水を行い水分不足に注意する。</li> </ul>

作物名	生育状況	技術対策
ハウス軟白ねぎ	・3月定植収穫中 ・タマネギバエ類、ハモグリバエ類が見られる。	・ハウス内外の雑草除去、収穫残渣の処分を徹底する。 ・害虫は定期的に防除を行う。
アスパラガス (ハウス立茎)	・灰色かび病が見られる。	・斑点病の防除を重点的に行う。 ・ヨトウムシの防除を行う。

※日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイドの抵抗性が確認されました。  
 今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょ。

### 3 畑 作

○ばれいしょ 高温・多湿により軟腐病の発生が心配されます。塊茎腐敗の発生や収量、品質に影響を及ぼしますので注意しましょう。

【軟腐病防除例】
* 気温 25～30℃、多湿環境で発生
未発生ほ場：コサイド3000
発生ほ場：スターナ水和剤

○小 豆 開花後に、菌核病・灰色かび病等が発生しやすくなります。ほ場をよく観察しましょう。

病害虫名	防除時期
灰色かび病・菌核病	1回目：開花始7～10後 2回目：1回目防除から7～10日後
アズキノメイガ	8月上旬～中旬

○大 豆 マメシンクイガの防除は若莢が着いたころ1回目の防除時期になります。

1回目：8月10日～13日ころ
2回目：1回目の散布から7～10日後

※連作畑や前年発生が多いほ場では要注意！

○小麦後作緑肥の導入

小麦収穫跡地の緑肥作物は、地力維持・土壤病害の発生軽減・土壤浸食防止など効果があります。生育確保のためできるだけ早くは種を行いましょ。

緑肥名	は種量 kg/10a	施肥量 (kg/10a)			効果
		N	P	K	
えん麦	15～20	4～6	5～10	0～5	有機物補給、雑草抑制

\* すき込み時期は、は種後60日(結実前)を目安とする

### 4 畜 産

○牧草生育状況 (8月1日現在)

作物名	生育状況			遅速 日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項目	R1年	平 年		
牧草(苜蓿)	草丈(2番草)	56.1cm	50.9cm	+3	生育はやや進んでいる

- ①三番草を収穫するほ場は、追肥を行いましょ。
- ②収穫したロールペールは、速やかにほ場から搬出しましょ。
- ③ロールペール乾草の堆積段数は3段以内とし、縦積みとします。

○サイレージ用とうもろこし生育状況 (8月1日現在)

作物名	生育状況		生育期節	遅速 日数	備 考
	項目	R1年			
サイレージ用とうもろこし	草丈 葉数	276.1cm 16.6枚	258.7cm 16.6枚	雄穂抽出期 +1	生育は地域間差が大きい。 生育は平年並みである。